

災害医療センター

1. スタッフ構成(2026年3月時点)

- 馬越 健介(救命救急センター長、災害医療センター長)
- 八木 草彦(消化器外科主任部長、救命救急センター副センター長、消化器病センター副センター長、災害医療部長)

2. 運営方針

当院は「基幹災害拠点病院」に指定されており、東南海・南海地震等の大災害に備え、愛媛県内の災害拠点病院、自治体、関係機関と協力し、愛媛県全域の災害医療体制の強化に取り組んでいます。また、愛媛県には原子力発電所があり、原子力災害医療の体制整備も必要です。福島第一原子力発電所事故を教訓にし、原子力災害医療体制の在り方を定期的に検討しています。

3. 実績

<過去の活動>

- ・ 2011年 3月 東日本大震災
- ・ 2011年 3月 福島原発事故
- ・ 2016年 4月 熊本地震
- ・ 2018年 7月 西日本豪雨
- ・ 2020年 7月 熊本豪雨
- ・ 2024年 1月 能登半島地震
- ・ 2025年 3月 今治市林野火災

<訓練>

県内の災害拠点病院だけでなく、消防機関や行政等と連携する訓練を行っています。

- ・ 2025年 9月 愛媛県総合防災訓練(宇和島市)
- ・ 2025年10月 松山市医師会大規模災害訓練
- ・ 2025年11月 松山市総合防災訓練
- ・ 2025年11月 愛媛県原子力総合防災訓練
- ・ 2025年12月 DMAT四国ブロック実動訓練(愛媛県)

<講習会開催>

- ・ 愛媛県災害医療従事者研修会(MCLSコース、2025年1月)
- ・ 災害看護研修会(県内の看護師対象、2025年12月)

4. 2026年度目標

- (1) BCP(事業継続計画)に基づいた災害対応
 - ・ 感染症流行の教訓から得られたBCPの改訂
 - ・ 災害対策マニュアルの改訂(BCPと整合性のとれた院内災害対策マニュアルへ)
 - ・ 被害想定に基づく病院評価
- (2) 原子力災害医療
 - ・ 原子力災害医療拠点病院としての整備
 - ・ 原子力災害協力機関研修の推進

5. 学術関係

(1) 学会発表および講演

- 馬越健介. 複合災害時の今後の課題. 全国原子力災害医療連携推進協議会. 東京 (2025.2.20)
- 渡辺真由美、馬越健介. 原子力災害を含む複合災害時の愛媛県災害医療

対策部の組織体制の構築. 第30回日本災害医学会総会・学術集会. 名古屋 (2025.3.6-8)

- 馬越健介、渡辺真由美、山森祐治(島根県立中央病院)、中村一彦(鳥取県立中央病院)、岩村卓明、廣橋伸之(広島大学原爆放射線医科学研究所). 原子力災害医療派遣チームの派遣にかかる今後の課題. 第30回日本災害医学会総会・学術集会. 名古屋 (2025.3.6-8)
- 馬越健介. 医療機関と大規模災害. 厚生労働省造血幹細胞移植医療体制整備事業 造血幹細胞移植推進拠点病院 四国ブロックセミナー. 松山 (2025.7.5)